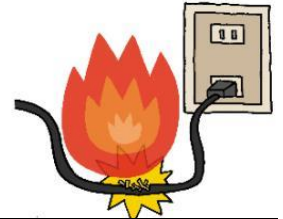


感震ブレーカーの購入・設置を補助します。

『感震ブレーカー』とは？

地震発生時に設定値以上の揺れを感知したとき電気を自動で止める器具です。地震等が発生し停電が起こった後、復旧した際に通電火災が発生する恐れがあります。このブレーカーは通電火災の予防に非常に有効です。

通電火災 イメージ



①地震発生（停電）

- ・ 停電発生
- ・ 家具転倒等で電源コード損傷

②避難中（通電）

- ・ 停電状態から通電
通電の瞬間にコードがショート

③火災発生

- ・ 地震で散乱した室内の燃えやすいものに着火

補助を行う感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5～8万円（標準的なもの）	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

令和8年度より追加

それぞれのタイプで価格の詳細、設置費用の詳細、医療機器を継続使用しているかなどで選択する必要があります。わからない場合はお近くの電気工事業者にご相談ください。

【問合せ先】 内子町役場 総務課 危機管理班 TEL (0893) 44-6150